

地域医療を支える人材確保についての緊急提言

新型コロナウイルス感染症の第4波が広がりつつある中、各都道府県が医療従事者のワクチン接種に取り組んでおり、各市町村は高齢者向けのワクチン接種の準備に総力を挙げている。また、医師・看護師をはじめとした医療従事者の方々は、感染症対策や通常診療に従事しながら、ワクチン接種にも対応していただいている状況にある。

しかしながら、従来から地域医療を担う医療従事者の不足が叫ばれてきた中で、この度の新型コロナ対策・ワクチン接種に際しても、その影響が及んでいるところである。

については、直前に迫ったワクチン接種に加えて、今後の地域医療の確保も見据えて、次の項目について対処されるよう提言する。

- 人材が限られている離島やへき地をはじめ、接種に係る医療従事者の確保が課題となっていることから、潜在看護師の掘り起こしや各種団体への派遣の働きかけを行うなど、国として必要な支援を行うこと。

また、例えば退職した医師を組織化して医師不足の地域に派遣する取組など、民間も含めたワクチン接種を円滑に進めるための人材確保の取組を支援すること。

- 今後の医学部定数の取扱いをはじめとした医師不足・医師偏在対策、医師の働き方改革や地域医療構想の推進等に当たっては、この度の新型コロナウイルス感染症対策の経験を踏まえ、地域に与える影響を考慮しつつ、地方とも十分に協議しながら進めること。

令和3年4月5日

全国知事会長 飯泉 嘉門
全国市長会長 立谷 秀清
全国町村会長 荒木 泰臣